

流域下水道 佐波処理区 処理場整備事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

快適な生活環境づくりに向け、
汚水処理人口普及率を向上させるため地元
の声

- ・伊勢崎市の汚水処理は遅れているので、早く下水道を整備してほしい。(地域住民)
- ・単独浄化槽が寿命なので、すぐに下水道につなげたい。(地域住民)

事業の概要

- 事業箇所:伊勢崎市境平塚
東毛流域下水道(佐波処理区)
平塚水質浄化センター
- 事業内容:水処理施設や污泥処理設備の整備

事業前

- ◆汚れた水が処理されずに河川などに流されています。



汚れた川（事業前のイメージ）

事業後

- ◆平塚水質浄化センターに集められた汚れた水をきれいに
にして川に戻すことで、川の水質が保全されます。



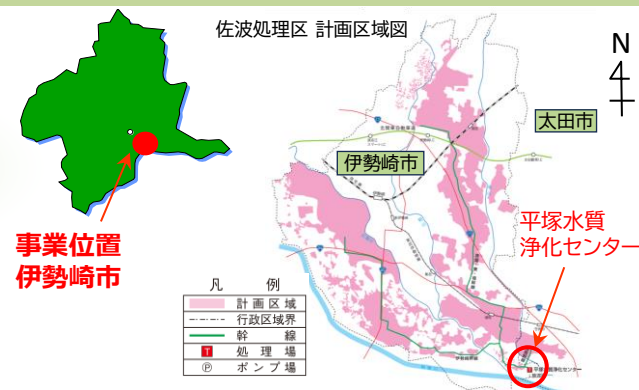
きれいな川（事業後のイメージ）

成果を示す項目	実施前
下水道整備済人口(佐波処理区)	17.7千人(R1)
下水道整備進捗率(佐波処理区)	13.7%(R1)

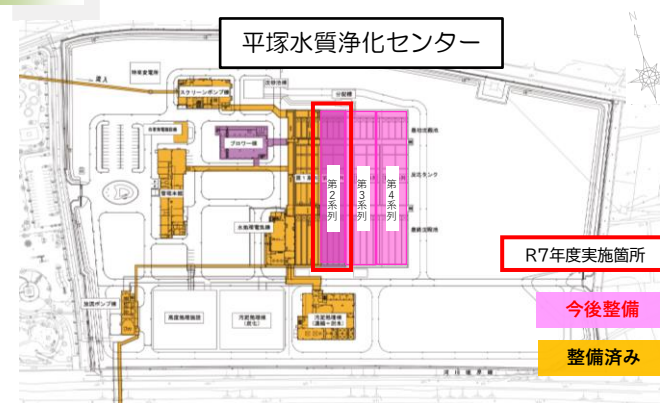
※下水道整備進捗率…下水道整備済人口／下水道整備の全体計画区域内人口

実施後(目標)

38.3千人(R14)
31.3%(R14)

下水処理施設を
つくります

事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は水処理施設増設のために、第2系列の施設詳細設計を実施します。

水処理施設増設予定地



事業のすすみ具合

事業開始●

●事業完了